



2025年11月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年7月14日

上場会社名 株式会社ELEMENTS 上場取引所 東
コード番号 5246 URL <https://elementsinc.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 長谷川 敬起
問合せ先責任者（役職名） 執行役員 CFO（氏名） 山田 洋輔（TEL）03(4530)3002
半期報告書提出予定日 2025年7月14日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家及びアナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年11月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年12月1日～2025年5月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年11月期中間期	1,690	39.9	239	2.5	17	△88.4	△9	—	△451	—
2024年11月期中間期	1,208	54.2	234	—	147	—	98	—	39	—

（注）包括利益 2025年11月期中間期 △555百万円（—％） 2024年11月期中間期 71百万円（—％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年11月期中間期	△18.39	—
2024年11月期中間期	1.72	1.47

（注）1 EBITDA＝営業利益＋減価償却費（有形・無形固定資産）＋株式報酬費用＋のれん償却額

（注）2 2025年11月期中間期の潜在株式調整後1株当たり中間純利益は、潜在株式は存在するものの、1株当たり中間純損失であるため、記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2025年11月期中間期	5,977	2,163	28.5
2024年11月期	4,916	2,609	42.8

（参考）自己資本 2025年11月期中間期 1,706百万円 2024年11月期 2,105百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年11月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年11月期	—	0.00	—	—	—
2025年11月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年11月期の連結業績予想（2024年12月1日～2025年11月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	円 銭
通期	3,815～ 4,000	49.9～ 57.1	150～ 275	△56.3% ～△19.8%	△325～ △225	—	△375～ △275	—	△825～ △725	△33.59～ △29.52

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 1社 (社名) 株式会社ポラリファイ

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 中間連結財務諸表及び主な注記 (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 (連結の範囲又は持分法の適用の範囲の変更)」をご覧ください。

- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 中間連結財務諸表及び主な注記 (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 (中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年11月期中間期	24, 675, 714株	2024年11月期	24, 501, 814株
② 期末自己株式数	2025年11月期中間期	一株	2024年11月期	一株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2025年11月期中間期	24, 560, 892株	2024年11月期中間期	22, 669, 205株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(連結の範囲又は持分法の適用の範囲の変更)	9
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(重要な後発事象)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間(2024年12月1日から2025年5月31日)における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症対策の緩和を背景に、経済活動が正常化に向かい、景気は緩やかに持ち直す動きがみられました。しかしながら、資源価格の高騰や物価高、欧米における金融引き締めの影響や中国経済に対する先行き懸念など、依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの提供するAIクラウド基盤(IoP Cloud)は、「個人認証ソリューション」と、主にヒトの生活三大要素であります「衣食住」の分野において、モノやサービスの「個人最適化ソリューション」を提供しております。新型コロナウイルス感染症の蔓延を契機に、社会全体のデジタル化が進む中、当社グループが提供する「個人認証ソリューション」と「個人最適化ソリューション」を用いたDX化の需要は拡大傾向にあります。

「個人認証ソリューション」が提供するオンライン本人確認サービス「LIQUID eKYC」は、犯罪収益移転防止法の改正及びコロナ禍の影響を受け、市場が拡大しております。株式会社矢野経済研究所「eKYC/本人認証ソリューション市場に関する調査(2025年)」(2025年3月28日発表)によれば、eKYC及び本人認証ソリューション市場の規模は2027年度には248億円に達すると見込まれており、業界を横断して更なる広がりが予想されています。また、中長期的には各業界におけるDXは加速し、活発な投資が行われることが見込まれます。

このような環境の中で当社グループは、当中間連結累計期間も引き続き、国内における主力サービスの拡大期と位置付け、事業を展開してまいりました。

なお、2024年に買収した株式会社アドメディカののれん及び顧客関連資産について、当中間連結会計期間において、グループ全体でのリソースの再配分に基づく事業計画の見直しを実施した結果、当社連結子会社である株式会社アドメディカに関し、当初見込んでいた収益を得られなくなったため、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額659,325千円を減損損失として特別損失に計上いたしました。

当中間連結会計期間における売上高は1,690,397千円(前年同期比39.9%増)、EBITDA(注)は239,861千円(前年同期比2.5%増)、営業利益は17,018千円(前年同期比88.4%減)、経常損失は9,002千円(前年同期は経常利益98,509千円)、親会社株主に帰属する中間純損失は451,556千円(前年同期は親会社株主に帰属する中間純利益39,070千円)となりました。

(注) EBITDA=営業利益+減価償却費(有形・無形固定資産)+株式報酬費用+のれん償却額

(2) 財政状態に関する説明

<資産、負債及び純資産の状況>

① 資産

当中間連結会計期間における総資産の残高は、前連結会計年度末に比べ1,060,512千円増加し、5,977,380千円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少689,259千円、売掛金の増加706,082千円、その他の流動資産の増加200,207千円、有形固定資産の増加121,984千円、のれんの増加782,350千円、顧客関連資産の減少422,313千円、その他の無形固定資産の増加374,395千円などによるものであります。

② 負債

当中間連結会計期間における負債の残高は、前連結会計年度末に比べ1,505,973千円増加し、3,813,807千円となりました。主な要因は、買掛金の増加215,734千円、短期借入金の増加474,998千円、未払金の増加783,407千円、その他の流動負債の増加157,220千円、長期借入金の減少42,342千円などによるものであります。

③ 純資産

当中間連結会計期間における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ445,460千円減少し、2,163,573千円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する中間純損失計上による利益剰余金の減少451,556千円、新株予約権の行使に伴う資本金及び資本剰余金それぞれの増加25,916千円によるものであります。

<キャッシュ・フローの状況>

当中間連結会計期間末の現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ689,259千円減少し、2,057,016千円となりました。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果獲得した資金は201,834千円(前年同期は198,210千円の増加)となりました。主な要因は、税金等調整前中間純損失668,327千円(前年同期は税金等調整前中間純利益98,560千円)、減価償却費118,254千円、減損損失659,325千円、のれん償却額35,813千円、株式報酬費用68,837千円などの非資金損益項目の計上、売上債権の増加220,028千円、仕入債務の増加177,572千円、法人税等の支払額38,530千円によるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果減少した資金は1,446,264千円(前年同期は921,070千円の減少)となりました。資金の主な減少は、有形固定資産の取得による支出163,605千円、無形固定資産の取得による支出245,360千円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出1,038,106千円によるものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果獲得した資金は555,169千円と(前年同期は319,837千円の増加)となりました。資金の主な増加は、短期借入による収入500,000千円、セール・アンド・リースバックによる収入173,517千円であり、資金の主な減少は、長期借入金の返済による支出37,500千円、リース債務の返済による支出73,235千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

足元の業績動向、株式会社ポリファイの子会社化の完了、ならびに株式会社アドメディカののれん及び顧客関連資産の減損損失の影響等を踏まえ、2025年4月14日に開示した当期連結業績予想を以下のように変更します。

	売上高	EBITDA	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A) (2025年4月14日時点)	3,730 ～ 3,900	黒字予想	赤字予想	赤字予想	赤字予想	赤字予想
今回発表予想(B) (2025年7月14日時点)	3,815 ～ 4,000	150 ～275	△325 ～△ 225	△375 ～△ 275	△825 ～ △725	△33.59 ～ △29.52
増減額 (B-A)	+85～100	—	—	—	—	—
増減率 (%)	0～19.5	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績	2,545	343	57	△27	△132	△5.66

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年11月30日)	当中間連結会計期間 (2025年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,746,276	2,057,016
売掛金	391,581	1,097,664
棚卸資産	3,481	96
その他	80,984	281,191
貸倒引当金	△15,060	△22,788
流動資産合計	3,207,262	3,413,179
固定資産		
有形固定資産	244,898	366,883
無形固定資産		
のれん	304,418	1,086,769
顧客関連資産	584,469	162,156
その他	363,239	737,634
無形固定資産合計	1,252,127	1,986,560
投資その他の資産	212,579	210,757
固定資産合計	1,709,605	2,564,200
資産合計	4,916,868	5,977,380
負債の部		
流動負債		
買掛金	43,911	259,645
短期借入金	233,332	708,330
1年内返済予定の長期借入金	81,000	85,842
未払金	228,919	1,012,326
未払法人税等	20,121	12,329
賞与引当金	8,438	3,875
その他	91,399	248,620
流動負債合計	707,122	2,330,970
固定負債		
長期借入金	1,221,499	1,179,157
資産除去債務	6,106	6,138
その他	373,105	297,540
固定負債合計	1,600,711	1,482,836
負債合計	2,307,834	3,813,807
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	35,916
資本剰余金	3,175,272	3,201,189
利益剰余金	△1,079,273	△1,530,829
株主資本合計	2,105,999	1,706,276
新株予約権	186,975	221,369
非支配株主持分	316,059	235,927
純資産合計	2,609,033	2,163,573
負債純資産合計	4,916,868	5,977,380

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年5月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年5月31日)
売上高	1,208,398	1,690,397
売上原価	151,125	305,451
売上総利益	1,057,273	1,384,945
販売費及び一般管理費	909,980	1,367,927
営業利益	147,293	17,018
営業外収益		
受取利息	23	1,305
その他	463	262
営業外収益合計	487	1,567
営業外費用		
支払利息	11,856	16,325
持分法による投資損失	14,779	6,433
繰延資産償却	18,176	-
その他	4,458	4,829
営業外費用合計	49,270	27,587
経常利益又は経常損失(△)	98,509	△9,002
特別利益		
関係会社株式売却益	50	-
特別利益合計	50	-
特別損失		
減損損失	-	659,325
特別損失合計	-	659,325
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	98,560	△668,327
法人税、住民税及び事業税	26,677	29,829
法人税等調整額	△68	△142,678
法人税等合計	26,609	△112,848
中間純利益又は中間純損失(△)	71,951	△555,478
非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に帰属する中間純損失(△)	32,880	△103,922
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失(△)	39,070	△451,556

中間連結包括利益計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年5月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年5月31日)
中間純利益又は中間純損失(△)	71,951	△555,478
中間包括利益	71,951	△555,478
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	39,070	△451,556
非支配株主に係る中間包括利益	32,880	△103,922

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年5月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	98,560	△668,327
減価償却費	37,285	118,254
のれん償却額	28,260	35,813
繰延資産償却額	18,176	-
株式報酬費用	21,237	68,837
減損損失	-	659,325
貸倒引当金の増減額(△は減少)	218	△576
賞与引当金の増減額(△は減少)	-	△4,562
受取利息	△23	△1,305
支払利息	11,856	16,325
持分法による投資損益(△は益)	14,779	6,433
関係会社株式売却損益(△は益)	△50	-
売上債権の増減額(△は増加)	96,259	△220,028
棚卸資産の増減額(△は増加)	△14,135	3,384
仕入債務の増減額(△は減少)	12,161	177,572
未払金の増減額(△は減少)	2,350	46,281
その他	△34,431	19,915
小計	292,503	257,343
利息及び配当金の受取額	23	1,305
利息の支払額	△13,735	△18,283
法人税等の支払額	△80,581	△38,530
営業活動によるキャッシュ・フロー	198,210	201,834
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△234,051	△163,605
無形固定資産の取得による支出	△189,299	△245,360
定期預金の預入による支出	△150,000	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△362,221	△1,038,106
その他	14,502	807
投資活動によるキャッシュ・フロー	△921,070	△1,446,264
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	560,000	500,000
短期借入金の返済による支出	△682,800	△25,002
長期借入れによる収入	200,000	-
長期借入金の返済による支出	△26,521	△37,500
リース債務の返済による支出	△10,951	△73,235
セール・アンド・リースバックによる収入	251,505	173,517
新株予約権の発行による収入	8,100	-
新株予約権の行使による株式の発行による収入	20,505	17,390
財務活動によるキャッシュ・フロー	319,837	555,169
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△403,021	△689,259
現金及び現金同等物の期首残高	2,741,884	2,746,276
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,338,862	2,057,016

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法の適用の範囲の変更)

(連結範囲の重要な変更)

当中間連結会計期間において、株式会社ポラリファイの株式を取得したことにより、同社を連結の範囲に含めております。

なお、2025年3月31日をみなし取得日としており、かつ、中間連結決算日との差異が3ヶ月を超えないことから、当中間連結会計期間においては貸借対照表のみを連結しております。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、一部の連結子会社を除き、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前中間連結会計期間(自 2023年12月1日 至 2024年5月31日)

当社グループは、IoP Cloud事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当中間連結会計期間(自 2024年12月1日 至 2025年5月31日)

当社グループは、IoP Cloud事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

(多額な資金の借入)

当社は、2025年7月10日開催の取締役会において、株式会社ポラリファイ株式取得資金の一部を充当するため、総額1,255百万円の借入を実施することを決議し、2025年7月14日に借入を実行いたしました。

借入の概要は下表の通りです。なお、当該借入については、2025年1月14日付「2024年11月期4Q及び通期決算説明資料」で開示している通り、手元現金及び借入により充当していた買収資金を、今回の長期借入金に振り替えるものです。

(1)	借入先	日本政策金融公庫	三菱UFJ銀行	りそな銀行
(2)	借入金額	770百万円	385百万円	100百万円
(3)	利率	固定金利	変動金利	変動金利
(4)	借入実行日	2025年7月14日	2025年7月14日	2025年7月14日
(5)	借入期間	10年	1年(※)	5年
(6)	担保の有無	無担保	無担保	無担保

※返済ピッチ：5年